

「エピジェネティック修飾オリゴ DNA」

この数年で急激に注目を集めている脱メチル化誘導体。

では、脱メチル化誘導体とはどのようなものなのでしょう？

少しばかりながら、ご紹介させていただきます。

■5-f-dC のゲノムワイドなプロファイリング

Genome-wide Profiling of 5-Formylcytosine Reveals Its Roles in Epigenetic Priming

Cell 153, 678–691, April 25, 2013

■グリオブラストーマ（膠芽腫）の DNA に多く存在する 5-hm-dC の重要な役割

5-hydroxymethylcytosine plays a critical role in glioblastomagenesis by recruiting the CHTOP-methylosome complex

Cell Reports 9, 48–60, October 9, 2014

■エピジェネティックメカニズムの薬物治療への応用

Epigenetic mechanisms of importance for drug treatment

TIPS-1143; No. of Pages 13

1本のオリゴ DNA 配列中に、以下の4種を共存挿入できます。もちろん1種の挿入から承ります！

メチル化シトシンと、水酸化酵素によって変換される脱メチル化誘導体

5-メチル化シトシン (5-me-dC)

5-ヒドロキシメチル化シトシン (5-hm-dC)

5-ホルミル化シトシン (5-f-dC)

5-カルボキシル化シトシン (5-ca-dC)

⇒詳細は[こちら](#)